



Newsletter

日本在宅ケア学会

2025年3月発行

No.18

一般社団法人日本在宅ケア学会
事務局
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋1-1-1
パレスサイドビル
TEL: 03-6267-4550
FAX: 03-6267-4555

日本在宅ケア学会 新体制のご紹介

— 令和6～7年度理事・監事一覧および委員会名簿—

◆理事長◆



中谷 久恵
広島大学大学院

今期より日本在宅ケア学会理事長を拝命いたしました。学際的で学術的な学会運営を低迷させることなく、会員みなさまに学会に所属する意義を感じていただける事業をより充実させながら継承してゆく所存しております。一般社団法人化から長年支えてくださいました多くの理事が満期で交代された心細さがありますが、新体制の理事・監事による自律的で闊達な意見交換が進んでいることをたいへん心強く思っております。ケアの受け手と担い手との連携や専門職の職種間連携を深め、研究活動が高まる学術団体として在宅ケアの質の向上と貢献を目指します。会員みなさまの声を拾える事業を新理事体制で心がけて参りますので、積極的な学会への参画をお願いいたします。

当学会は2025年度に創立30周年を迎えます。在宅ケアの先駆けとなる歴史ある学会の使命として、如何に次世代へ変革・発展を紡いでいくかが今日の課題でもあります。そこで、令和7年9月の第30回学術集会におきまして、学会創立30周年記念事

業を開催いたします。30年の節目にふさわしい催しとなるよう記念事業の事務局を設置し、副理事長に事務局長をご担当いただき、特別企画を検討しております。非会員みなさまにもお声がけいただきまして、日本在宅ケア学会の歴史を刻む日を共有し、後進へつないでいただけますよう、ご参加をお待ちしております。今後ともご支援ご協力を賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

◆副理事長◆



片山 陽子
香川県立保健医療大学

このたび、副理事長を拝命いたしました。微力ではございますが、中谷理事長を支えながら、学会の発展に貢献できるよう努めてまいります。質の高い在宅ケアの推進にむけて、本学会の役割はより一層重要となっています。今後とも、会員の皆様の学会活動へのご参加、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆理事◆



石橋みゆき
千葉大学大学院看護学研究院

今期、会計担当理事を務めます石橋です。学会全体の財務状況について、正確にかつ会員の皆さまにわかりやすく説明することに努めてまいります。学会の財務状況は活動内容とも密接に関連します。会員の皆様に納入いただいた会費が、本学会の活動の目標に向かって適切に執行されるよう、理事長、副理事長、総務担当理事と協力し、財務管理してまいります。



牛久保美津子
群馬大学大学院保健学研究科

学会誌の編集委員長を拝命いたしました。これまでの編集委員、査読委員の経験を活かし、かつ皆様のご協力を得て、在宅ケアの発展に資する数多くの論文の公表に努めてまいり所存です。ご支援をよろしくお願ひします。



内田 陽子
群馬大学大学院保健学研究科

私の義母・実母は在宅ケアサービスを受けており、そのおかげで大好きな看護の研究と教育が継続できています。亡くなった父も在宅ケアを受けながら自宅で亡くなることができました。その恩返しになればと、理事を務めさせていただいております。私は在宅ケアイノベーション研究研修委員長として、全国から多くのケアの宝石を集め、光り輝くケアの革命を起こしたいと考えています。どうぞよろしくおねがいします。



榎本 雪絵
杏林大学保健学部リハビリテーション学科理学療法学専攻

このたびガイドライン改訂委員長を拝命しました。様々な領域でご活躍されている皆様のご意見を伺えるこの学会での活動は、とても有意義な経験となっております。皆様からご指導いただきな

がら、学会活動に貢献できるよう微力ながら努めてまいります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



大野かおり
兵庫県立大学看護学部

このたび初めて理事に選出していただきました。生涯教育委員長を担当いたします。

多職種で構成されるという本会の特徴を活かした取組により、会員のみなさまの学びと交流の場を提供できるように努めてまいります。みなさまのご参加をこころよりお待ちしております。



尾崎 章子
東北大学大学院医学系研究科

前期に引き続き、理事を拝命致しました。ガイドライン作成委員を務めさせていただきます。「エビデンスにもとづく在宅ケア実践ガイドライン2022」のエビデンスの更新作業が終了し、改訂版である「同2025」の刊行を待つ段階となりました。会員の皆さまのお手元に届くことと存じます。ご活用をお願いしますとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければと存じます。何卒よろしくお願ひいたします。



叶谷 由佳
看護系学会保険連合担当理事
横浜市立大学医学部看護学科

今期、はじめて理事を担当させていただきます。担当は看護系学会保険連合（看保連）です。看保連は診療報酬や介護報酬改定に対する看護に係る要望を受け付ける組織です。看保連での情報を把握し、学会に還元していきたいと思ひます。また、要望を提出するには根拠が必要であり、政策提言検討委員会での活動が根拠となる可能性がありますので、常に連携していきたいと思ひしております。皆様からのご意見も踏まえて、必要に応じて要望していきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。



菊地ひろみ
札幌市立大学

引き続き、理事を拝命いたしました。今期は論文賞選考委員会委員長、看護系学会協議会（JANA）を担当いたします。論文賞選考を通じて多職種が集う本学会の特色が発揮されるよう、また、JANAの担当窓口として学会活動の更なる推進に資する取り組みをまいります。



河野 光伸
金城大学医療健康学部/大学院総合リハビリテーション学研究所

2期目の理事を拝命し、倫理委員会委員長、ガイドライン作成委員会を担当させていただきます。みなさまにご教授いただきながら、努めさせていただきます。至らぬ点が多いと思いますが、よろしくお願い申し上げます。



小林 裕美
株式会社在宅看護実践研究所

このたび初めて日本在宅ケア学会の理事を拝命いたしました。学会のさまざまな活動を理解する機会ととらえ、微力ながら精一杯に尽力したいと存じます。また委員会では、実践・研究助成委員会の委員長を拝命いたしました。学会では、在宅ケア領域の発展に寄与するすぐれた実践・研究に対して助成を行っており、本委員会での公募や選考等を行ってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



酒井 昌子
聖隷クリストファー大学

このたび、理事を拝命いたしました。広報委員長として、本学会の理念である在宅ケアの推進、質的向上を広く伝えるため、多岐にわたる情報発信に尽力してまいります。特にWebによる情報発信では、様々な職種の学会員や専門家の皆様に向け、学会活動や先進的な実践活動などの情報を分かりやすくお届けし、学会への積極的な参加を促進する取り組みを強化していきたいと考えており

ます。また、学会の情報発信に関して、会員の皆様から率直なご意見やご要望、そしてアイデアをお寄せいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



臺 有桂
神奈川県立保健福祉大学

今期よりガイドライン（GL）作成委員会委員長を拝命いたしました。本委員会が担当するGLとは、健康課題に対しエビデンスを基に最適な推奨を示す文書です。2022年に初版「在宅ケア実践ガイドライン」、2024年度には改訂版の刊行、現在は2027年度の第3版刊行を目指して取り組んでおります。第30回学術集会では、より多くの皆様にGLを活用していただけるよう、委員会主催のワークショップを企画しています。また、GL作成のプロセスへのご参加も随時歓迎しております。皆様のご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



高砂 裕子
南区医師会訪問看護ステーション

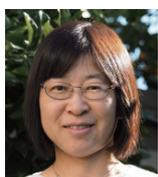
令和6年度の役員改正では、永く日本在宅ケア学会を支えていらした役員が、理事の重任可能年限が、連続4期8年までのため、新たな役員が多く選出されることになりました。私は、令和4年度から理事を拝命いただき、政策提言検討委員会委員長を担わせていただいています。日本在宅ケア学会が蓄積してきた、在宅ケア実践のエビデンスに基づく支援を明らかにすることを政策提言検討委員会の活動で継続していきたいと考え、会員のみなさまのご協力を心より願っています。

政策提言検討委員会の今年度の活動は、「訪問看護事業所の組織・運営体制が利用者の死亡転期に及ぼす影響に関する研究」で、高度実践看護師等の実践を利用者の希望に沿った看取りの実現度合い（アウトカム）として調査します。また、その結果を第30回学術集会で会員の皆さまと意見交換し、研究成果として政策提言に繋げていきたいと考えています。



竹本与志人
岡山県立大学保健福祉学部現代福祉学科

このたび、初めて理事を拝命いたしました岡山県立大学の竹本与志人と申します。専門は社会福祉学（医療福祉・精神保健福祉）です。日本社会福祉系学会連合を担当させていただきます。社会福祉学を専門とする会員はマイノリティですが、在宅ケアを支えるうえで社会福祉の援助は欠かせないため、その重要性を伝えていくことができると存じます。どうぞよろしく願いいたします。



永田 智子
慶應義塾大学看護医療学部

総務担当理事に就任した永田です。入会審査などの通常業務を遅滞なく行うとともに、医療安全調査機構など外部機関との連携が円滑に行われるように努めてまいります。また、中谷理事長のリーダーシップのもと、学会活動の活発化や会員サービスの向上に向けた取り組みも積極的に行ってきたいと思っておりますので、ご指導のほどどうぞよろしく願いいたします。



服部ゆかり
東京大学医学部附属病院

2023年より理事を拝命し、ガイドライン作成委員会を担当させて頂いております。私は老年科医として在宅医療に携わっておりますが、臨床現場において、様々な職種の方々と常に対等な関係で、チームとして連携していくことの重要性を痛感しています。本学会は多職種の専門家が一堂となって学術的活動を行う貴重な学会です。引き続き在宅ケアの発展に貢献できるよう努力して参ります。どうぞよろしく願い申し上げます。



三輪 恭子
大阪公立大学大学院看護学研究科

この度初めて理事を拝命し、学会活動推進委員会を担当させていただきます。本委員会では、学

術集会でのセミナー等を通して、学会活動がますます活発化し、在宅ケアの質向上に貢献できるよう尽力してまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。



結城美智子
北海道大学大学院

このたび、理事（総務担当）を拝命いたしました結城美智子です。歴代の諸先輩方が築かれた学会の伝統と発展に深く敬意を表し、その重責を担うにあたり身の引き締まる思いであります。総務は学会活動の円滑な運営を支える基盤であり、会員の皆様が安心して学術・実践活動を推進できる環境を整えるべく尽力する所存です。どうぞご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◆監事◆

池田 直樹
上本町総合法律事務所

今回監事に就任しました弁護士の池田直樹です。私は大阪で30年近く高齢者虐待防止の取り組みに参加して来ており、その中で在宅ケアの問題にも関心がありました。高齢者は住み慣れた自宅でこそ健康を維持しやすい。阪神淡路大震災の際に高齢者の孤独死が問題になりました。高齢者の横のつながりは不可欠です。

当学会で弁護士としてお役に立てるよう、頑張る所存です。よろしく申し上げます。



正野 逸子
令和健康科学大学

この度新役員で監事を拝命しました正野と申します。専門領域が在宅看護学領域のため、日本在宅ケア学会は長年会員として所属しておりますが、役員として参加するのは初めてです。一般社団法人の監事の役割とは「理事や理事会が適正に業務を行っているか第三者の目線から監視する役割」と明記されています。理事会や役員会に参加し、適切に業務が遂行され、適切に財源が使用されているか監査するとともに、日本在宅ケア学会の発展に寄与できるように監事の役割を遂行させていただく所存でございます。今後共よろしく願い申し上げます。

◆委員会新体制名簿◆

〈編集委員会〉

委員長：牛久保美津子（群馬大学大学院）

副委員長：永田 智子（慶應義塾大学）

委員：石橋みゆき（千葉大学大学院），新井香奈子（滋賀県立大学），小野若菜子（東京都立大学），鈴木優喜子（杏林大学），柏木 聖代（東京医科歯科大学大学院），岡本双美子（三重大学大学院），佐藤ゆかり（岡山県立大学），古瀬みどり（山形大学），梶井 文子（東京慈恵会医科大）

〈学会活動推進委員会〉

委員長：三輪 恭子（大阪公立大学大学院）

委員：鹿内あずさ（北海道文教大学），乗越 千枝（四天王寺大学），^{みない}葉袋 淳子（岐阜医療科学大学），丹羽 敦（福岡国際医療福祉大学）

〈広報委員会〉

委員長：酒井 昌子（聖隷クリストファー大学）

委員：照井 レナ（日本医療大学），岡田 麻里（香川県立保健医療大学），森下 安子（高知県立大学）

〈倫理委員会〉

委員長：河野 光伸（金城大学大学院）

委員：小西かおる（大阪大学大学院），瀧澤 利行（茨城大学），牛久保美津子（群馬大学大学院）

〈政策提言検討委員会〉

委員長：高砂 裕子（南区医師会訪問看護ステーション）

委員：長江 弘子（亀田医療大学），叶谷 由佳（横浜市立大学），岩本 大希（WyL株式会社），成瀬 昂（東京大学大学院），藤野 泰平（株式会社デザインケア），吉江 悟（一般社団法人Neighborhood Care），篠原 真咲（大阪公立大学）

〈論文賞選考委員会〉

委員長：菊地ひろみ（札幌市立大学）

委員：片山 陽子（香川県立保健医療大学），中谷 久恵（広島大学大学院），牛久保美津子（群馬大学大学院）

〈実践・研究助成委員会〉

委員長：小林 裕美（株式会社在宅看護実践研究所）

委員：眞崎 直子（広島国際大学），平澤 則子（長岡崇徳大学），泉宗 美恵（山梨県立大学），金森 弓枝（熊本大学）

〈生涯教育委員会〉

委員長：大野かおり（兵庫県立大学）

委員：古川 美和（杏林大学），大村佳代子（兵庫県立大学），小枝美由紀（神戸女子大学），内田和宏（早稲田大学）

〈ガイドライン作成委員会〉

委員長：臺 有桂（神奈川県立保健福祉大学）

副委員長：亀井 智子（聖路加国際大学大学院）

委員：尾崎 章子（東北大学大学院），河野 光伸（金城大学大学院），河田 萌生（聖路加国際大学大学院），清水 恵（東北大学大学院），服部ゆかり（東京大学医学部附属病院），蓮井 貴子（日本赤十字北海道看護大学），石村 珠美（国際医療福祉大学），大野 洋一（高崎健康福祉大学）

〈ガイドライン改訂委員会〉

委員長：榎本 雪絵（杏林大学）

委員：平原 優美（日本訪問看護財団），桑原 良子（松本看護大学），中山 直子（神奈川県立保健福祉大学）

〈在宅ケアイノベーション研究研修委員会〉

委員長：内田 陽子（群馬大学大学院）

副委員長：結城美智子（北海道大学大学院）

委員：中谷 久恵（広島大学大学院），森田久美子（東京医科歯科大学大学院），池田 直樹（上本町総合法律事務所），五十嵐 歩（東京大学大学院），齋藤 緑（スギナーシングケア株式会社），長谷川 幹（世田谷公園前クリニック），新井 明子（高崎健康福祉大学訪問看護ステーション），崎山恵里那（群馬大学大学院生），梨木恵実子（群馬大学大学院）

令和6年度日本在宅ケア学会 委員会活動紹介および活動報告

第29回日本在宅ケア学会学術集会報告

永田 智子（慶應義塾大学看護医療学部）

第29回日本在宅ケア学会学術集会は、2024年8月23日・24日に神奈川県鎌倉市の鎌倉芸術館において、『望む場所で暮らす』をかなえるために：つくる・つなげる在宅ケア』のテーマのもと開催されました。オンライン開催は9月末まで行われ、参加者数は1,100名以上に上りました。本学術集会は鎌倉市との共催であり、開会式では松尾崇鎌倉市長自ら登壇して、在宅ケアに対する熱いエールを送っていただきました。

学術集会の企画としては、地域の力を生かした居場所作り、医療福祉連携の先駆的な取り組みや高度実践看護師の取り組み、住環境やテレヘルス、移動・外出支援の現状と課題、在宅ケアの効果評価とエビデンス構築、地域・在宅看護論を踏まえた人材育成など、多様なテーマで様々な職種・背景の皆様にご登壇いただきました。地域包括ケアシステムや訪問看護の歴史の振り返り、鎌倉ならではの歴史をテーマとした講演もありました。

一般演題では113題のポスター発表が行われ、現地にて活発な意見交換が行われるとともに、オンラインでも公開されました。5つの演



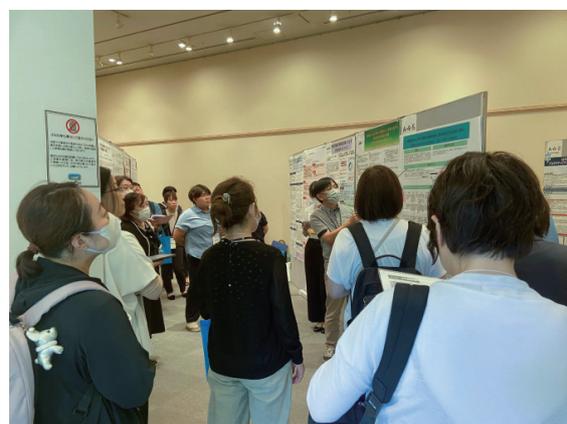
開会式



会長講演



受付風景



ポスターセッション



市民公開講座



企業展示

題が優秀演題賞に選ばれ、閉会式で開催された授賞式では、副賞として鎌倉の美味しいお菓子が授与されました。また、交流集会は6題開催



移動支援ワークショップ

され、多様なテーマ・開催方法で参加者の関心をひきつけました。学会の委員会活動に基づく委員会企画や、オンライン限定のオンデマンド企画も行われました。学生が企画・運営し在宅ケアに関する様々な職種に焦点を当てた「Meet the expert」は、学部学生が学会活動に関心を持つきっかけとなりました。

市民公開講座においては、「『住み慣れた自宅で最期まで…』をかなえるために～在宅ケアのすゝめ」と題して、在宅診療医の大蔵暢さんに在宅ケアの実際についてご講演いただくとともに、ゲストとして女優の大竹しのぶさんにご登壇いただきました。大蔵さんの訪問診療を受けながらご家族を在宅で看取られた大竹さんのお話は説得力があり、鎌倉市民を含む多くの聴衆の心をつかみました。

真夏の鎌倉市に集った皆様、またオンライン開催をご視聴くださった皆様に、学術集会を盛り上げてくださったことへの感謝をお伝えするとともに、後援団体や協賛企業の皆様、運営に携わったすべての皆様に心より御礼申し上げます。

令和6年度日本在宅ケア学会論文賞受賞に寄せて
 — 優秀論文賞受賞者、奨励論文賞受賞者より —

◆令和6年度日本在宅ケア学会優秀論文賞



高間 達也
 七尾自動車学校

■受賞論文 原著

脳損傷患者におけるJ-SDSA と自動車運転技能の関係

高間 達也 (七尾自動車学校)

この度は、栄誉ある第29回日本在宅ケア学会優秀論文賞を賜り、大変光栄に存じます。本研究において終始、懇切なるご指導を頂いた河野光伸先生、澤俊二先生をはじめ、社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院リハビリテーションスタッフの皆様ならびに、本研究にご協力頂きました対象者の皆様へ深謝いたします。

本研究は、脳損傷の方が自動車運転を再開する際の評価として行われる神経心理学的検査のJ-SDSA と、実際の自動車運転評価の関係について調査を行いました。我が国では、自動車運転は多くの方の重要な移動手段となっています。一方で、自動車運転は多重課題であり、高次脳機能が重要となる高度な作業になります。脳損傷の方の自動車運転再開を検討する際、神経心理学的検査や実車運転評価など多面的な評価に加えて地域の道路状況など、社会的な環境面にも配慮しなければならないことが考えられ、多職種による慎重な検討の必要性があるものと考えられました。

私は現在、指定自動車教習所で教習指導・技能検定を行う作業療法士として勤務しております。この度の受賞を励みに、自動車学校が今後、より多くの方の移動を支援するための新たな社会資源となることができるよう邁進してまいります。

◆令和6年度日本在宅ケア学会奨励論文賞



北村 智美

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

■受賞論文 原著

慢性呼吸器疾患患者に対する看護師・理学療法士・作業療法士による在宅呼吸リハビリテーションの実践に関する質的研究

北村 智美 (一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構)

この度は、2024年奨励論文賞を賜り、大変光栄に存じます。本研究にご協力いただきました研究参加者の皆様、そして、貴重なご意見をくださいました査読者の先生方に心より感謝申し上げます。

本研究では、看護師・理学療法士・作業療法士に半構造化面接をさせていただき、在宅呼吸リハビリテーションに関する利用者の特徴や具体的な実践を記述しました。本論文をご覧いただいた方々の日常臨床の振り返りやより良い実践を考えるための一助となり、在宅ケアのさらなる発展につながれば、大変光栄に存じます。

また、私事ではございますが、本研究は博士課程の研究の一部として取り組ませていただきました。研究を始める段階からまとめるに至るまで、一つ一つが困難な道のりでしたが、このような賞をいただけたことに、改めて深い感謝の念を抱いております。ご指導いただきました先生方、共に学び支えてくれた大学院生の皆様に心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、今後も一層精進して参りたいと存じます。

各種ご案内

ニュースメール配信用 メールアドレス登録のお願い

本学会では、会員のみなさまへ迅速に情報提供を行うために、「ニュースメール」（不定期／年数回）を配信しております。未登録の方は会員専用サイトよりご登録いただくか、会員登録事項変更届のご提出をお願い申し上げます。

災害時年会費免除について

災害救助法やその他の災害の被災者となられた方で、罹災証明書を所持された会員へは、年会費免除に関する事項を定めております。該当される場合は下記事務センターまでお問い合わせください。提出いただいた申請書をもとに理事会で検討いたします。

詳細は学会ホームページ (<https://jahhc.com/procedure>) にてご確認ください。

第1回在宅ケアイノベーション大賞 候補者募集について

今年是在宅ケアイノベーション大賞を決定します。一次審査で応募された演題について、現在、審査中です。審査をクリアされた方は大賞候補者として、第30回学術集会でプレゼンしていただき、本審査を経て決定予定です。みなさま、乞うご期待を！

実践および研究助成金について

■第12回実践・研究助成金募集結果■

〈2025年度助成者〉

◇「慢性閉塞性肺疾患を有する在宅療養者のアドバンスケアプランニングに伴う経験：現象学的アプローチ」

南 琴子（聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程）

※助成額：20万円

◇「急性期病棟看護師の退院支援実践力と退院支援看護師からの働きかけに対する認識との関連」

佐藤 絵美（新潟県立看護大学大学院博士前期課程）

※助成額：20万円

◇「看護基礎教育における多職種連携・協働の学びを促す訪問看護事業所での臨地実習とその指導」

國丸 周平（滋賀県立大学人間看護学部）

※助成額：20万円

■第13回実践および研究助成募集について■

募集期間：2025年10月1日～11月30日（予定）

応募資格：実践および研究代表者は、当学会員（入会手続きが完了している者）であり、該当年度の会費を振り込んだ者。

※詳細が決定次第、学会ホームページに掲載予定。

第30回日本在宅ケア学会学術集会のご案内

—学会設立30周年記念事業—

日本在宅ケア学会は1996年の創立以来、わが国の在宅ケアの発展に向け30年の歩みを進めてまいりました。本年2025年に学会創立30周年を迎えることを記念して、2025年9月に大阪で開催されます第30回日本在宅ケア学会学術集会において記念事業を催します。

本学会は、保健医療福祉職のみならず教育や心理など多様で幅広い職種で構成する学際的な学会としての強みをいかし、在宅ケアを必要とするすべての人びとの生活の質を向上するため、在宅ケア実践の方向性を先導し、よりよいシステムづくりへの役割を担ってきました。学会創立30周年記念事業では、会員の皆様と共に、在宅ケアおよび在宅ケア学のこれまでといま、これから先の未来を展望するとともに、在宅ケアの歴史とともに歩んできた学会30年と

今後を語る時間を共有したいと思います。

記念事業は、9月13日(土)に、記念式典および祝賀懇親会を学術集会会場内レストランにて開催いたします。会員の皆様と語りあう夕べの会となることと存じます。若手会員の皆様も奮ってご参加ください。また、翌9月14日(日)午前の学術集会プログラムにおいて、日本在宅ケアアライアンス理事長新田國夫先生の特別講演を開催、引き続き鼎談を催します。鼎談には、本学会を理事長として支えてこられた白澤政和先生、亀井智子先生を迎え、新田國夫先生と3名が登壇いたします。内容の詳細や参加登録につきましては、改めて学会ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

記念事業プログラム概要

第Ⅰ部 記念式典・祝賀懇親会

日 時：2025年9月13日（土）17：15～18：45

場 所：千里ライフサイエンスセンター 第30回学術集会会場内レストラン

1. 記念式典

時 間：17：15～17：45

内 容：理事長挨拶、歴代理事長挨拶 等

2. 祝賀懇親会

時 間：17：45～18：45

「学会30年を振り返り今後の未来を語る」をテーマに立食形式で開催予定

第Ⅱ部 特別講演・鼎談

テーマ：新時代への在宅ケアを紡ぐ

日 時：2025年9月14日（日）10：30～11：30

場 所：千里ライフサイエンスセンター第30回学術集会会場

1. 特別講演

時 間：10：30～11：00

講 師：新田國夫先生 日本在宅ケアアライアンス理事長

座 長：中谷久恵先生 日本在宅ケア学会理事長

2. 鼎談

時 間：11：00～11：30

登壇者：新田國夫先生 日本在宅ケアアライアンス理事長

白澤政和先生 元日本在宅ケア学会理事長（第2代理事長）

亀井智子先生 前日本在宅ケア学会理事長（第3代理事長）

第30回日本在宅ケア学会学術集会のご案内

サイエンスを使いこなし、温かい心をもって他者に寄り添えるひとによって、在宅ケアはつくられます。本学会では「サイエンスとひとで創り出す在宅ケア」をテーマに、成熟社会の人々の生活と健康をまもるために、在宅ケアはどうあるべきか、多様な切り口から皆さんと意見を交わします。また、本学会設立30周年記念講演鼎談、式典を企画しております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- **テーマ**：サイエンスとひとが創り出す在宅ケア
- **大会長**：河野あゆみ（大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野）
- **会期**：2025年9月13日(土)・14日(日)
- **会場**：千里ライフサイエンスセンター
(大阪府豊中市新千里東町1-4-2, 千里中央駅から徒歩3分)
- **事務局長**：三輪恭子（大阪公立大学看護学部在宅看護学分野）
- **運営事務局**：あゆみコーポレーション 電話：06-6131-6605 Eメール：jahc30@a-youme.jp
- **ホームページ**：https://plaza.umin.ac.jp/jahc30/
- **開催方式**：現地開催ならびに、一部オンデマンド配信
- **主なプログラム**（タイトル等は予定のものであり、今後変わる可能性があります）
 - 会長講演：サイエンスとひとが創り出す在宅ケア（河野あゆみ）
 - 基調講演1：在宅ケアの質保証（山本則子）
 - 基調講演2：ヘルスサービスリサーチと在宅ケア（田宮菜奈子）
 - 教育講演1：リアルワールドデータを用いたコホート研究（山本陵平）
 - 教育講演2：地域包括ケア時代の実践力を強化する看護基礎教育（叶谷由佳）
 - 教育講演3：在宅ケア実践ガイドラインの開発とその成果（亀井智子）
 - 教育講演4：要介護高齢者の自立支援とリスク回避に向けたシーティング（白井みどり）
 - 教育講演5：ロボティクスを活用した持続可能な高齢者ケアと倫理（島村敦子）
 - 教育講演6：人々の声なきSOSをすくう地域のつながり（勝部麗子）
 - シンポジウム1：リアルワールドデータと在宅ケアのエビデンス（成瀬昂, 大槻奈緒子, 柏木聖代）
 - シンポジウム2：成熟社会におけるこれからの在宅ケアの人材育成（藤野泰平, 竹本与志人, 小林正宜）
 - パネルディスカッション1：人々のつながりでつくる地域見守り（浜崎優子, 小田哲司, 濱吉信彰）
 - パネルディスカッション2：新卒訪問看護師育成の今とこれから（林佳美, 大藪涯, 辻村真由子）
 - パネルディスカッション3：成熟社会における持続可能な在宅医療・介護とは？（足立泰美, 西之坊篤, 岩本大希）
 - パネルディスカッション4：人々のつながりとエンドオブライフケア（石山麗子, 小野恵子, 小野若菜子）
 - パネルディスカッション5：成熟社会の地域・在宅看護人材をつくる看護基礎教育（清水準一, 臺有桂, 李錦鈍）
 - パネルディスカッション6：支援が届きにくい人々へのケアマネジメント（平山司樹, 杉山京, 綾部貴子）
 - 市民講座：さみしくない家じまいと人生会議（屋宜明彦, 濱吉美穂）
 - 在宅ケアスキルアップ講座1：在宅ケアはどう変わる？2040年問題に向けた制度の行方をひもとく（石井富美）
 - 在宅ケアスキルアップ講座2：フットケアを始めよう！アセスメントと予防的ケアの基本（間宮直子）
 - 在宅ケアスキルアップ講座3：暮らしのなかの認知症ケア：生活機能を引き出すワザと工夫（田中寛之）
 - 在宅ケアスキルアップ講座4：ケアに生かす東洋医学的アプローチツボを刺激して治癒力を高める手当ての基礎知識（高山美歩）
 - 在宅ケアスキルアップ講座5：褥瘡ケアをアップデート！シーティングによる予防とスキンケア（篠原真咲）

その他に、30周年記念企画、在宅ケアイノベーション委員会、生涯教育委員会、学会活動推進委員会、ガイドライン作成委員会・改訂委員会、政策提言検討委員会、論文賞選考委員会からの各種企画、インタレスト・トーク、交流集会、一般示説発表、協賛セミナーなど豊富な企画をご準備しております。